

京都市・新潟市 観光・文化交流宣言

平成25年3月26日

京都市と新潟市との交流は、貢納物の輸送が行われた平安時代にさかのぼり、江戸時代には北前船の活躍により、経済・文化の往来が盛んになるなど、各時代において活発に進められてきました。

また、両市は、伝統により磨き上げられた伏見清酒や、豊かな水で育まれた越後清酒をはじめ、京野菜や新潟米、魚介類など、特色ある食文化を伝承するとともに、京の都で育まれた芸舞妓、湊まち新潟で発展した芸妓など、成り立ちや歴史は異にするものの、共通した分野で、多様な文化を育んできました。

また、昨年、新潟市出身の文人・曾津ハ一の業績を縁として開催された、相国寺承天閣美術館と新潟市曾津ハ一記念館の所蔵品交換展により、両市の交流は、新たな深まりを見せています。

さらに、両市は、東日本大震災からの復興と、いわれのない風評被害の払しょくに奮迅する会津若松市と、同じ志のもと、それぞれが交流を宣言し、絆を深めています。

震災から2年目の春を迎え、我が国は、復興への歩みをより加速させようとしています。復興への志と願いを込めて、京都市と新潟市は、両市の更なる発展と震災復興に向けた取組の輪を広げるため、新たな「絆」を結び、観光・文化を中心とした相互協力・交流を実施することをここに宣言します。

京都市長

新潟市長

門川大作

落田昭